



Team ANAGUMA テーマにこだわらない自然保護研究

私たちの研究「チーム」は、雑木林、人工林、草地、河川、ため池、農地、樹木、地球温暖化、自然保護、有機農業、近自然学・・・なんでもかんでもテーマとして「しまい」ます。そのために、全国をチームで飛び回ります。仲間のいる拠点もたくさんあります。研究だけでなく、NPOなど多くの市民活動にも積極的に参加しています。

そのスタイルは、雑食で、縄張りを持たず、1日に何十kmも移動し、泥だらけで、集団で活動し、たくさんの巣穴をもつ「アナグマ」のようです。このような研究スタイルのせいか、私たちは、研究や市民活動の仲間から「あなぐまチーム」と呼ばれています。



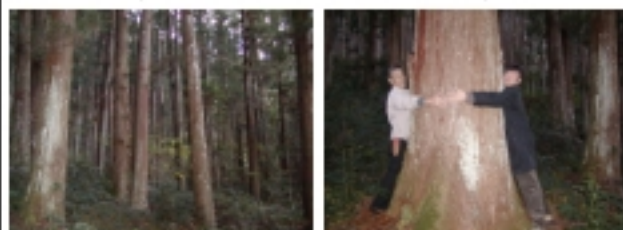
森林

森林は私たちに不可欠なものです。雑木林や人工林（経路林）は、管理することで生産も健全になります。そのためには、Team ANAGUMAでは、どのような管理が良いのかを生態学的に調べています。



管理不足で荒れてしまった弱い森を・・・

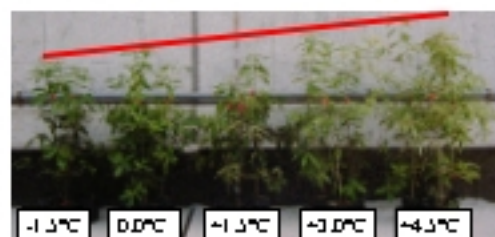
↓ 森林管理によって ↓



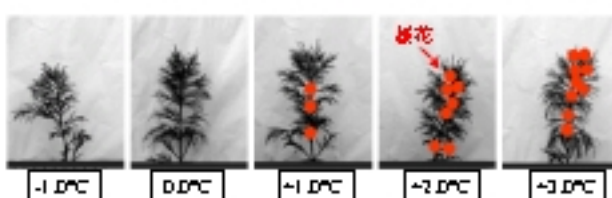
大木や下草の生える森へと育てる

樹木生理（温暖化と樹木）

地球温暖化は人間が抱えた大きな問題です。各地で対策が始まっていますが、温暖化が自然に与える影響もよくわかっていないのが実情です。このため、Team ANAGUMAでは、気温を自在に調節できる人工気象室を使って、温暖化した環境条件をつくり出し、その中で樹木を育て、樹木が受ける影響と高温ストレスのメカニズムについて調べています。



気温上昇で大きくなるコナラ（ドングリ）



気温上昇で花粉の元-雄花-が増えるスギ

自然再生

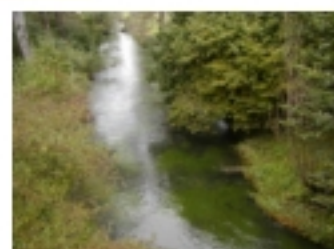
壊された自然を再生し、健全な姿へと戻すことは、自然のためだけではなく、私たちが未来も生き残るために必要なことです。Team ANAGUMAでは、実際のフィールドにおいて自然再生の環境管理を行い、その後、自然がちゃんと再生されているかどうかの生態調査を行っています。



環境管理によって美しい自然を再生する

近自然学

環境問題を抱えた私たちが快適に持続的に生き残っていくためには、地球を持続させなければいけないことが分かりました。そのためには、現在の「環境負荷社会」から、自然と共生した「近自然社会」へと切り替える必要があります。Team ANAGUMAでは、近自然社会づくりに関わる、適切な分野の研究や社会活動を行っています。



持続可能な近自然社会の景観は美しい！